

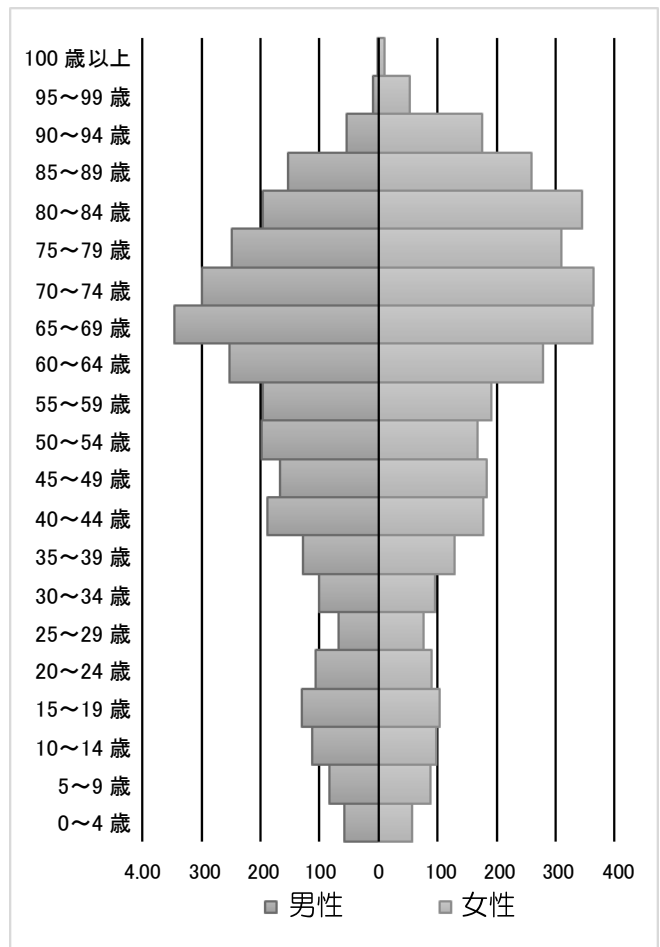
■ 三瓶地区

統計で見る地域の特性

人口	6,629
世帯数	3,305
(1世帯当たりの人数)	2.0
年少人口	496
生産年齢人口	3,021
老年人口	3,112
(うち75歳以上人口)	1,745
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	46.9%
要支援認定者数	156
要介護認定者数	480
自治会数	19
サロン数(高齢者)	11
民生・児童委員数	24
(1人当たりの世帯数)	138

※ 特別養護老人ホーム(皆樂園)、養護老人ホーム(三樂園)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

開催日	1回目 令和元年7月23日(火)	2回目 令和元年9月27日(金)
会場	西予市三瓶支所2階多目的ホール	



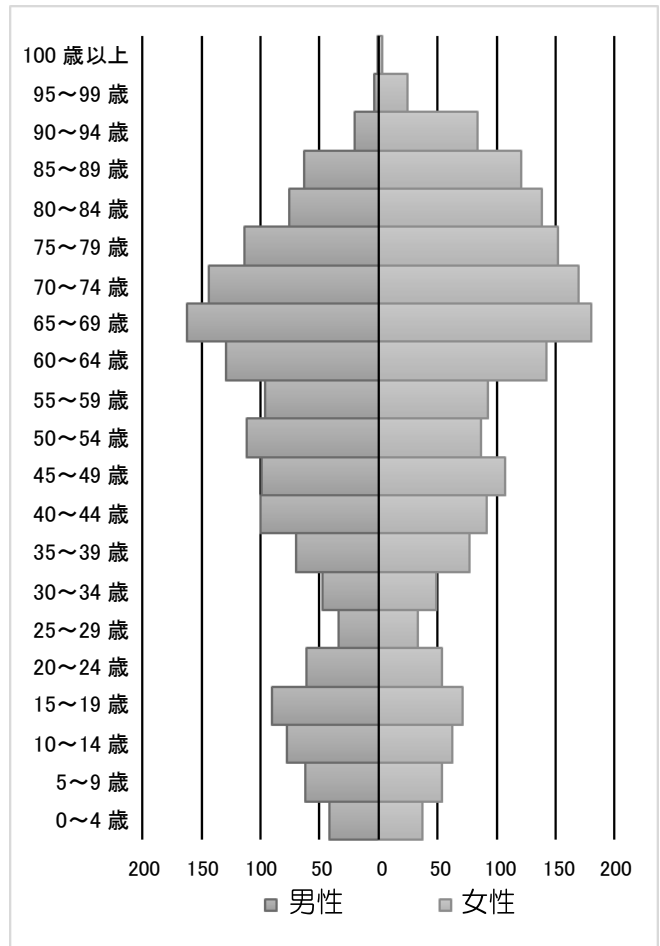
三瓶町 東地区

統計で見る地域の特性

人 口	3,434
世帯数	1,645
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	335
生産年齢人口	1,644
老年人口	1,455
(うち75歳以上人口)	800
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	42.4%
自治会数	10
サロン数(高齢者)	8
民生・児童委員数	12
(1人当たりの世帯数)	137.1

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

東地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・みかん栽培
- ・じゃこ天がおいしい
- ・銀天街がある

【健康・医療】

- ・クロッケーの練習をしている
- ・三瓶病院(個人)がある

【地域活動・教育】

- ・町内会、十人組の組織がある
- ・秋祭りやこんぴら様のお祭りがある
- ・ふれあい広場がある
- ・ソーラン踊りがある
- ・ナイターソフトやレクバレーがあり、その後、飲み会もしている

【防災・安全】

- ・南海トラフ地震に備え、防災対策をしている
- ・子どもたちの朝の登校時、見守りをしている

【生活環境】

- ・クリーン運動をしている
- ・年2回(春・秋)集会所等の花植え、清掃活動をしている
- ・市道、河川敷の草刈りをしている
- ・植樹をしている
- ・上下水道の清掃をしている

【その他】

- ・人が良い
- ・地域のことを真剣に考えてくれる人がいる

東地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事が無い • 銀天街がシャッター通りになっている • 漁業組合が県下で一本化 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 老々介護になっており、病院が遠い • 昔はあった往診が無くなった <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 三瓶小学校が現在 222 名で、子どもの数が少なくなった 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消防団のなり手が無い、空き家が多い • 警察官が到着するのに時間がかかる <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買い物に行く交通手段がない • 生活に車が必須であり、ゴミ置き場も遠い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 隣近所との付き合いが少なく、冠婚葬祭が簡素化になっている • 区の役員決めが大変である
---	--

これからの東地区を考える

課題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
• 空き家が多い	• 危険建物の把握 • 子どもたちへの見守り (安全・防犯 等)	• 家主に貸せる状態にしてもらうよう呼びかけ • 復興住宅活用への働きかけ	
• 銀天街がシャッター通りになっている	• 「銀ちゃんの仮装大賞」 • 子ども達による屋市の開催	• 銀天街に集いの場 • 「潮彩館」に食堂 • 後継者向け雇用の場の確保	
• 行政からの情報がもらえない	• 地域内の方への見守り • 地域外の方への対応	• 地域住民の名簿作成 • 地域や隣近所の見守り体制づくり	
• 隣近所とのつきあいが少ない (十人組がない)	• 十人組がある地域もある • 昔からの冠婚葬祭を継続している地域もある	• 集まるきっかけづくり • 世代間の交流(飲食付) • 井戸端会議の復活	
• 8050 世帯や、独居高齢者世帯が多い	• 地域の方の見守りがある	• 地域で見守りの強化 (昔ながらの見守り) • 福祉の十人組をつくる	1 年程度

社協からのコメント

県下でも歴史ある「銀天街」があり、人口減少、後継者不足等により以前ほどの賑わいは影を潜めているが、住民主体のイベント等を通じて活性化を図っている。地域で南海トラフ地震等に備えた防災対策や子ども達の見守りなども積極的に行っており、「ふれあい広場」や「ひだまりクラブ」等の地域活動にも熱心に取り組んでいる。地域では町内会や十人組により人と人との繋がりもあるが、昔に比べるとその繋がりも希薄傾向にあるとの声も聞かれる。また、少子高齢化による生活道の管理や、買い物に行くことが困難な世帯の増加等の課題も出てきている。

今回の住民座談会の課題解決の話し合いにおいて、「昔ながらのご近所付き合いや冠婚葬祭、見守りや声掛けが、このような地域課題を即座に解決するきっかけになる。福祉の十人組をつくる！」といった力強いご意見もあった。ご近所同士の顔が見える、あたたかい「福祉の十人組」の実現に向けた地域づくりに期待している。

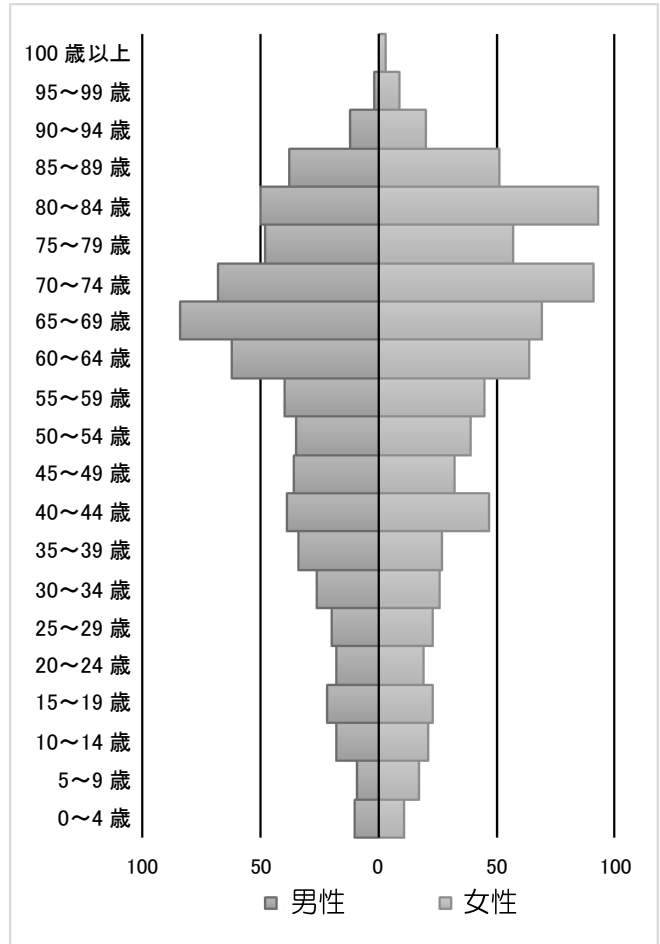
三瓶町 二木生地区

統計で見る地域の特性

人 口	1,458
世帯数	763
(1世帯当たりの人数)	1.9
年少人口	86
生産年齢人口	677
老年人口	695
(うち75歳以上人口)	383
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	47.7%
自治会数	3
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	5
(1人当たりの世帯数)	152.6

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

二木生地区の良いところ

【健康・医療】

- ・クローケー（毎日）
- ・健康体操教室がある（毎週 火曜日）
- ・高齢者のウォーキングしている人が多い（増加）
- ・ひだまりクラブ活動がある

【地域活動・教育】

- ・地域行事の伝承（夏越祭、神楽部、亥の子等）
- ・公民館活動が充実している
- ・3世代交流事業が多い
- ・草刈り活動がある
- ・高齢者のゴミ出し手伝いをしている
- ・ひな祭り等、趣味を活かした活動をしている人たちがいる

【防災・安全】

- ・にきぶ地域づくり会を通して、防災が向上
- ・団員以外の消防団（機能団員）活動ができそう
- ・自主防災、地域づくり

【生活環境】

- ・海や空気がきれい
- ・移動販売が来る（JA&ひろみ号）
- ・あいさつが出来ている（話しかけ）
- ・主要道路（R378）道幅が広い

【その他】

- ・人と人とのつながりがある
- ・人情が厚い
- ・老人のパワーがある

二木生地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い（高齢者が不便） ・職場がない ・昼間に若者がいない（地域に職場が無い） ・良い職場が無いので、すぐに仕事をやめる <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が遠く、交通手段が無い ・病院が無いので、病気が心配 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化により、地域活動が出来ない ・参加者が決まっている 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機意識が低い ・避難道が確保できてない ・空き家が多い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無くなり、生活面に支障をきたしている（生活必需品の確保困難） ・道が狭い（車が入らない） ・バス便が少ない ・子どもが少ない（少子化） ・若い世代の減少 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べて、住民のつながりがうすい
--	---

これからの二木生地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
・危機意識が低い（防災）	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施 ・避難訓練による啓発 ・避難道などの現地調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップづくり ・炊き出し訓練、避難訓練 ・消防団の機能団員の活用
・医療機関が遠く、交通手段が無い	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で送迎 ・公共交通機関の利用 ・各自でタクシーを手配 	<ul style="list-style-type: none"> ・通院者がバス停にいたら、乗せて帰る
・昔に比べて、住民のつながりがうすい（都会化）	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能の継承 ・地区で敬老会を実施（つながりを深めている） 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが集まりやすい行事の計画、活性化 ・各行事に参加してもらう
・店が無い（高齢者が不便）	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回車による移動販売 ・衣料品の移動販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人に声を掛けて、一緒に行く
・高齢者のゴミ出し	<ul style="list-style-type: none"> ・親族による助け合い ・毎回ではないが、知り合いの手助け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションが国道を挟んでいるので、高齢者の替わり出す

社協からのコメント

地域行事の伝承など、人と人のつながりが強く、また、クローケーや健康体操など、高齢者のパワーも大変豊かな地域である。しかし、若い世代や子どもの減少、空き家の増加、商店や医療機関が遠いなどの課題もあり、地域のつながりや高齢者のパワーなど「地域力」の高さを生かして、課題の解決に取り組んでいただきたい。また、沿岸部という事もあり、津波など防災に関する意識が高く、地域で避難訓練が実施されており、今後も地域の防災に関する取り組みも更なる充実を図っていただきたい。

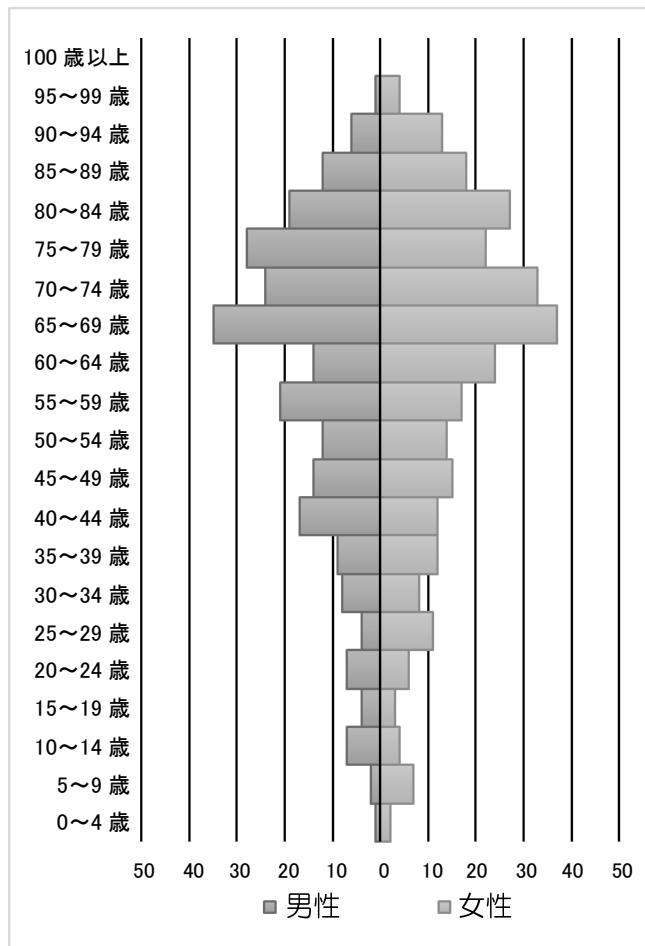
三瓶町 周木地区

統計で見る地域の特性

人 口	534
世帯数	277
(1世帯当たりの人数)	1.9
年少人口	23
生産年齢人口	232
老年人口	279
(うち75歳以上人口)	150
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	52.2%
自治会数	1
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	1
(1人当たりの世帯数)	277

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

周木区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・小釣り組合の活動
- ・みかん作り
- ・中国、ベトナム人の雇用

【健康・医療】

- ・いきいきサロン
- ・ゲートボール・カラオケで認知症予防

【地域活動・教育】

- ・盆踊り、秋祭り、春ずもう
- ・老人クラブの活動・宮山下刈り
- ・いかだ集会・あじさい会
- ・おばちゃん達と一緒に料理を楽しむ
- ・手芸グループで楽しむ

【防災・安全】

- ・自主防災組織が構成されている
- ・避難場所
- ・非常食の備蓄

【生活環境】

- ・消防団・区一斉消毒
- ・道普請
- ・遊園地、周木小学校跡地清掃

【その他】

- ・区民が協力的、住みやすい
- ・近所の高齢者におかず等を、時々配っている
- ・ひまわり会・ひなたぼっこ

※道普請…地域住民の協働活動で、道路や水路などの修理・草刈りを行う勤労奉仕の作業

周木区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場が無い ・若者が少ない ・子どもが少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が多い ・健康管理意識 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い ・交通の便が少ない（交通弱者） ・空き家の増加 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店（農協）があっても閉まるのが早い
---	--

これからの周木区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
・店が無い	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスーパーしゅう ・えひめ生協 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の誘致 	今年度中
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が少ない（交通弱者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り合わせて病院に行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政へ呼びかける 	2～3年
<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を構成 ・非常食の備蓄 ・避難場所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練と一緒に非常食の試食会をする ・防災マップの作成 	2年
<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・体操教室の開催 ・料理教室の開催 ・いきいきサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと老人でクローケー交流大会をする 	1年

社協からのコメント

<p>周木区は、過疎化・少子高齢化が年々顕著になってきているが、元気な高齢者が多い。</p> <p>避難訓練に合わせた非常食の試食会・防災マップの作成を実行することで、より防災意識が高まると思われる。</p> <p>移動支援・買い物支援等の課題については、地域の支え合い・助け合い活動や移動販売車の誘致等の社会資源の活用で、高齢者が暮らし続けられる地域をつくる必要がある。</p> <p>伝統行事やお祭りの継承もされており、「支え合いの地域づくり研修会」を開催する等、地域づくり活動に住民が積極的である。地域活動の種類も多く住みやすいと感じている住民が多い。世代間交流イベントや集いの場（ほがらか衆&おしゃべりクッキング教室・ひなたぼっこ等）が広がっていくことを期待している。</p>
--

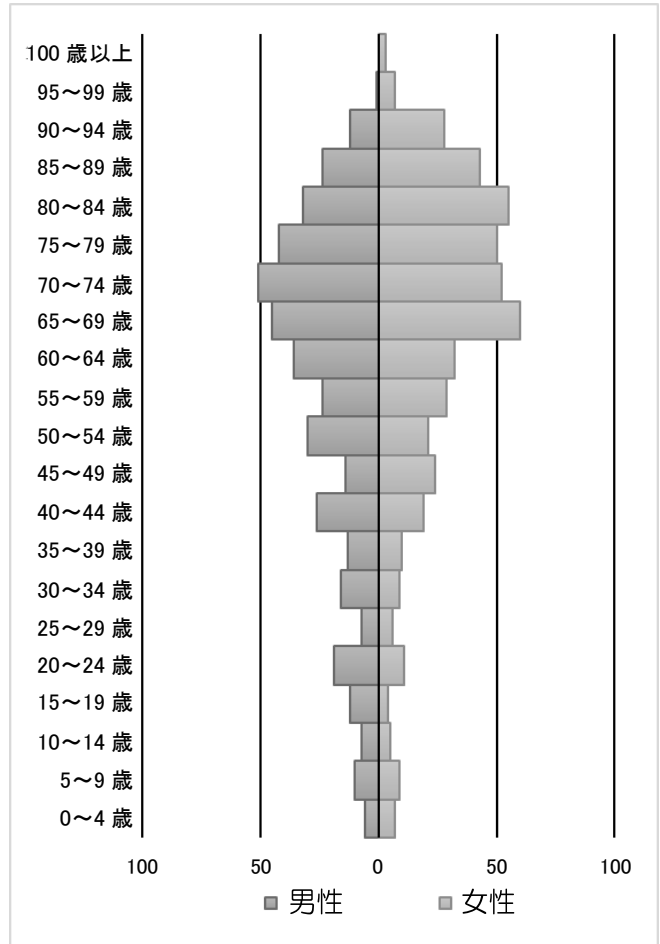
三瓶町 蔵小校地区

統計で見る地域の特性

人 口	911
世帯数	466
(1世帯当たりの人数)	2
年少人口	44
生産年齢人口	362
老年人口	505
(うち75歳以上人口)	297
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	55.4%
自治会数	4
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	5
(1人当たりの世帯数)	93.2

※ 特別養護老人ホーム(皆楽園)、養護老人ホーム(三楽園)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

蔵小校区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- みかん栽培が盛ん、魚が釣れる

【健康・医療】

- 海・山・自然が豊かで、ウォーキングに適している
- 診療所があることは、安心
- 子どもが元気、高齢者ががんばっている

【地域活動・教育】

- 公民館で趣味・健康づくりの活動がある
- 伝統的な祭りの継承、敬老会、運動会を開催
- 各戸を回って町費の集金が声かけ・見守り
- 通学バスの見守り活動がある

【防災・安全】

- 消防団の活動が心強い
- 砂防ダムがある

【生活環境】

- 移動販売やAコープ・郵便局がある
- 海が近く、豊かな自然がある
- メダカ・ホタルの育成、あらパークの整備

【その他】

- 子育て世代が多く、悩みや情報を共有できる
- 地域で子どもへ温かい声かけをしてくれ、地域全体で子育てができる雰囲気がある
- 人情が厚く、顔見知りが多いので、気軽に挨拶ができる

蔵小校区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者（労働人口）が少ない ・農・漁業のために、国道 378 号の拡幅が必要 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の緊急体制が弱い ・専門医への通院が困難になる <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の役員のなり手が少ない ・老人会・婦人会等の組織がない ・老人会への入会者が少ない ・活動資金の確保 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の参加者が限られる ・津波発生時の対策が弱く、災害時に孤立することが考えられる ・空き家が多くなってきた <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場に危険が多い（川・海） ・店がなくなれば、買い物に困る ・遊具で遊べる公園がない ・ポイ捨てが多い
---	---

これからの蔵小校区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
・防災、減災について	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 ・防災倉庫の整備 ・避難所拠点整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、水の増量（3日分） ・二次避難場所の確保 ・防災マップ、要援護者の対応
・地域活動の担い手について	<ul style="list-style-type: none"> ・常会長を家の順番で決める ・役員の負担を減らす役割分担 ・老人会、ボランティアが環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を得る ・強制的に役員に、後継者育成
・専門医への受診が困難	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用 ・親戚等が送迎を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの送迎は、事故の心配がある（タクシー利用者へ補助等の仕組みがあれば）
・買い物が不便	<ul style="list-style-type: none"> ・JA、コープの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の利用を進める
・活動資金の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・手上げ型交付金を活用して、地域の活性化（めだかの学校、運動会、太陽会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている事業の推進 ⇒団結力が生まれ、地域活動が活性化

社協からのコメント

海と山に囲まれ、自然が豊かで、地域全体であたたかいあいさつや声かけがあり、子どもから高齢者までが安心を実感できる暮らしが営まれている。また、公民館等での趣味の活動が盛んに行われており、健康や生きがいに繋がっていると感じた。市内の他地区においても、少子高齢化により地域活動の担い手不足が課題となっているが、強制的ではあるが順番に役をまわすことで、後継者の育成ができていくように思う。印象的であったのは、交付金を活用して「行事や活動を行うことで、地域の繋がりが密になり、団結力が生まれ、地域活動が活性化する」という意見だった。地域の活動が盛り上がることにより、住民の笑顔や誇りに繋がって、郷土を愛し、人を育てるあたたかい環境が育まれると感じた。

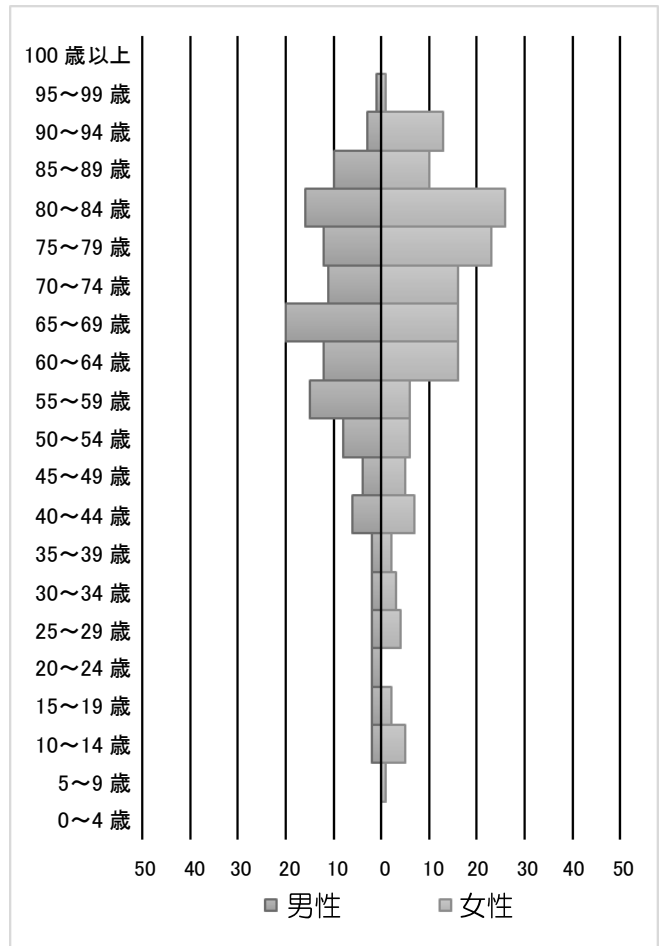
三瓶町 下泊地区

統計で見る地域の特性

人 口	292
世帯数	154
(1世帯当たりの人数)	1.9
年少人口	8
生産年齢人口	106
老年人口	178
(うち75歳以上人口)	115
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	61%
自治会数	1
サロン数(高齢者)	0
民生・児童委員数	1
(1人当たりの世帯数)	154

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

下泊区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・馬糞ウニがこずかいかせぎ
- ・家庭菜園の家が多い

【健康・医療】

- ・畑仕事で足腰が鍛えられる
- ・診療所がある

【地域活動・教育】

- ・近所付き合いが良い
- ・個人ボランティア活動が少しはある
- ・老人のゲートボール活動
- ・高齢者の交流
- ・老人クラブ等、団体と常会(町内会)の連携がある

【防災・安全】

- ・津波防災の意識が高い
- ・防災に対する意識が少しずつ出ている

【生活環境】

- ・生活エリアがコンパクト
- ・集会所と公民館がある
- ・困った時に周りが助けてくれる
- ・海と山の両方があり環境が良い

【その他】

- ・人情が厚い、人と人とのつながりがある
- ・自然が豊かで時間がゆっくり
- ・海の幸、山の幸が新鮮で味わえる
- ・宿泊施設が2か所ある

下泊区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く所がない 地元の産業、仕事が少ない 農業、水産が大きく後退 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門の病院がない 医療機関が遠い 急病で救急車の時間が心配 病院までのバス事情が悪い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の担い手不足、高齢化 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 378 号生活道路が 1 本で災害時孤立に 道路事情が悪い 救急対応が悪い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融機関がなくお金の出し入れができない 危険な空き家が多い 高齢者・独居世帯が多い 高速のインターまで遠い 若い人がいない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 超限界集落 75 歳以上 35%
---	--

これからの下泊区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
・買い物が不便	・仲良しグループで対応	・買い物の代行及び車両の準備	未定
・地域活動の担い手不足	・高齢者の頑張りがある	・今ある地域団体の活用 ・女性の活躍に期待	
・消防団員がいない	・地区外転出者の勧誘	・婦人防火隊、消防団 O B の活用	
・農家が減少し農道の管理が困難	・区民による道作り行事 ・利用者による除草剤の散布	・地域住民による里に近い所からの管理 ・管理委員会等の新設	5年
・急傾斜が多く宅地の裏山管理が大変	・所有者の確認	・管理委員会等の新設	5年

社協からのコメント

<p>三瓶町の中でも下泊地区は一番南の端にあり、専門病院まで遠く交通アクセスが悪いことに不便さを感じられている。また、主な生活道路が 1 本しかなく災害時の孤立も心配。</p> <p>一方で海と山に囲まれた豊かな自然環境でゆっくりした時間を過ごされている様子。</p> <p>地区の課題には、農道や宅地裏山の管理について挙げているが、管理委員会等の新設など、組織的な取り組みでの課題解決も考えられている。</p> <p>座談会では、意見のくい違いもありながら、参加者が積極的に討議に参加されていた。</p>
